

田原市博物館

平常展

ひな人形と

初風展

3月3日の上巳の節句(ひな祭り)と5月5日の端午の節句(こどもの日)は、わたしたちにとって親しみの深い祝い日です。一般的に3月の節句は女の子、5月の節句は男の子の祭りとなれ、現在でも健やかな子どもたちの成長を祝う日として全国各地で様々な行事が盛大に行われています。田原市内においては、ひな祭りにはひな人形や天神様を、こどもの日には鯉のぼりや鎧兜、武者人形を飾り、またこの頃に風あげをして子どもたちの成長を祝う「初風」と呼ばれる行事も行われています。

今回の展示では、そんな願いの込められたひな祭りと初風を取り上げ、子どもたちの誕生とその後の健やかな成長を願う姿を、様々な形をしたひな飾りと初風で楽しくご覧いただきます。



初風(佐々木高綱)



初風(加藤清正)



初風(源義経)



段飾り 昭和50(1975)年頃



親王飾り 明治期

平成30年 2月10日(日) → 4月1日(日)

場所 ● 田原市博物館企画展示室1
開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 ● 月曜日(月曜日が休日の場合は、その翌日)
観覧料 ● 一般210円(160円)、小中学生以下無料
※()は20名以上の団体料金/毎土曜日は高校生も無料
主催 ● 田原市博物館、田原風保存会

同時開催
華椿系の流れ
特別展示室



雛祭図 渡辺華山筆 天保9(1838)年

女の子の節句
男の子の節句

初風
今年制作され贈られる初風を展示します。

田原の初風は、江戸時代に男の子が生まれた翌年の端午の節句に親戚などから贈られた祝い風を揚げ、その子の健やかな成長と家門繁栄を願ったのが始まりです。子どもの成長と将来の飛翔への願いは現在も脈々と受け継がれ、毎年5月の第4土曜日には「初風祈願祭」が開催されます。武者絵、歌舞伎絵などが描かれた華やかな初風を大空に揚げ、家族揃って子どものお祝いをするのです。

ひな人形
市内に伝わったおひな様などを展示します。

この地方で、ひな祭りにひな人形を飾る習慣が一般化したのは江戸時代後半であり、明治中頃からは男ひな、女ひなが一對となった親王飾りひな人形が飾られるとともに、素朴な味わいのある土人形も愛されました。しかし大正の末頃には、豪華な御殿飾りのひな人形が登場し、さらに戦後の高度成長期には現在の屏風段飾りひな人形が主流となって現在にいたっています。

田原まちなか雛祭りめぐり
観覧無料
はなとき通りから田原駅前通り線沿いの田原のまちなかの店舗に、様々なお雛様やつし飾り等が展示されます。
【展示期間】
2月3日(土)～3月4日(日)
<http://www.tahara-tmo.com/>

- JR・名鉄「豊橋」駅から豊橋鉄道渥美線乗車「三河田原」駅下車、徒歩15分(田原城跡内)
- 豊鉄バス伊良湖本線・支線「田原萱町」下車、徒歩10分
- 田原市ぐるりんバス「博物館入口」下車、徒歩3分



田原市博物館

〒441-3421 愛知県田原市田原町巴江11-1
TEL 0531-22-1720
<http://www.taharamuseum.gr.jp>